

## 令和元年度学校評価(前期)結果について

令和元年11月1日  
新林小学校 校長 水田 真吾

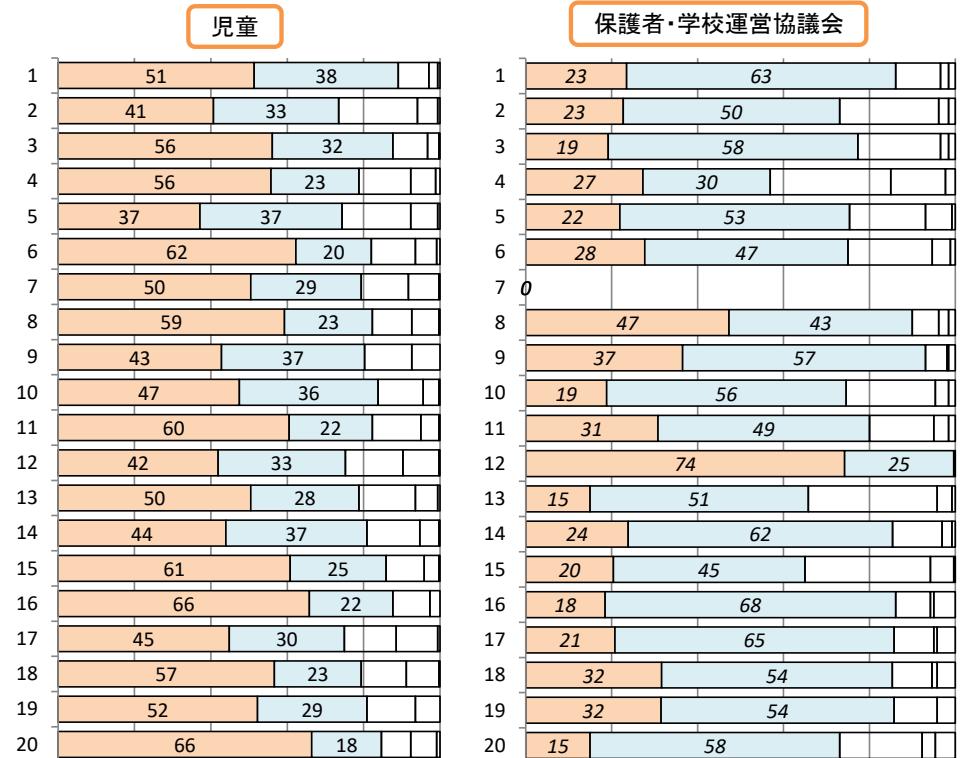
平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。前期の学校評価にたくさんの方からご回答をいただき、ありがとうございます。アンケートの結果とともに分析結果についてご報告します。  
自由記述欄に書いていただいたことについては、真摯に受け止めさせていただきます。ありがとうございます。

**学校教育目標** 「自分の良さを生かし、夢に向かって、挑戦し続ける子どもの育成」～ひとりひとりが力を合わせ 明るくたくましく伸びていく新林の子ども～  
**前期の重点目標** ①自分の良いところを知り、自信をもって行動する。 ②あきらめずに最後までやりきる。 ③家庭学習と学習の準備をしっかりととする。

※単位は%

質問項目	
①	学校の勉強はわかりますか
②	自分の意見や考えを話すことができていますか
③	人の意見や考えをしっかりきくことができていますか
④	進んで本を読むことができていますか
⑤	毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか
⑥	毎日、家庭学習をすることができていますか
⑦	授業や学校生活の中でがんばったことを先生はほめてくれますか
⑧	学校に楽しくかようことができていますか
⑨	学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか
⑩	地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができるていますか
⑪	早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか
⑫	自分にはよいところがあると思いますか
⑬	むずかしいことでもしつぱいをおそれないでちょうどせんしていますか
⑭	学校のきまりややくそくを守ることができますか
⑮	自分から進んでそうじや係活動(委員会活動)ができますか
⑯	学校からのおたよりをお家の人に見せていますか
⑰	わからないことや困っていることを先生に相談することができますか
⑱	お家の人に学校でのできごとを話していますか
⑲	おうちの人やちいきの人からほめられることがありますか
⑳	ちいきの人との交流やゲストティーチャーとの交流、PTAぎょうじを楽しみにしていますか

「確かな学力」(アンケート番号①～⑦)



「豊かな心・健やかな体」(アンケート番号⑧～⑯)

「学校・家庭・地域との連携」(アンケート番号⑰～㉚)

※四捨五入のため、合計が100%にならない項目があります。

今回のアンケート結果や、4月に6年生が受けた学力調査の結果から、以下のことについて取り組んでいきたいと思います。

**① 基礎的・基本的な知識・技能の定着**

☆アンケートの①で89%の児童が「学校の勉強はわかっている」と答えており、保護者も86%が「学校の勉強がわかっている」と答えています。しかし、「わからない」と答えている児童もいるので、わかる授業を心掛けたり、どの部分につまずきがあるのかを見極めて指導したりする必要性を感じました。長期休業後の漢字・算数大会や昼休み後のスキルアップタイムの取組を充実させて、基礎・基本の身につけ方を学ばせていきます。

**② 話す・聞く力の向上**

☆アンケート②と③を見ると、聞くことよりも話すことに苦手意識をもっているようです。「聞く・考える・話す」という流れを授業の中に取り入れ、話す経験を増やすようにしています。児童が安心して自分の考えを話すことができるような関係づくりを進めています。

**③ 家庭学習の習慣化**

☆アンケート⑥の「家庭学習をしているか」の項目で、児童の82%がしていると答えていますが、保護者を見ると75%にとどまっています。また、アンケート④の「進んで本を読むことができているか」の項目で、保護者は57%しか「できている」と答えていません。知識を身につけるためには学習意欲が大切になってきます。家庭学習の必要性と習慣が身につくように指導をしていきます。

今回のアンケート結果や、5月と夏休み明けに実施したさわやか週間の結果から、以下のことについて取り組んでいきたいと思います。

**① 自己肯定感の育成**

☆アンケート⑫の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目は、児童の75%しか「あると思う」と答えておらず、20項目の中でも低い結果となりました。児童が活躍できる場をたくさん設定し、頑張ったことをタイミングよく褒めることで、「自分にはよいところがある」と全員が思えることを目指していきます。

**② 自己効力感の育成**

☆アンケート⑯の「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか」の項目は、児童の78%，保護者の66%が「挑戦している」と答えています。保護者は、子どもに「失敗をおそれずに挑戦してほしい」という思いがあることが読み取れます。あきらめずに粘り強く取り組むことの大切さや失敗して落ち込むのではなく、失敗から学ぶ姿勢などの「明るく生きるこつ」を伝えていきたいと思います。

**③ 楽しい学校**

☆アンケート⑧「学校に楽しく通うことができているか」の項目は、児童の7%が「そう思わない」と答えています。2学期には、運動会や学習発表会などの行事があります。一生懸命に頑張ったり協力したりする楽しさも実感できるように取り組んでいきます。体操服の準備等、お世話になりますがよろしくお願いします。

**④ 基本的生活習慣の確立**

☆アンケート⑪の項目では「早寝・早起き・朝ごはん」のリズムができている児童が多いことが読み取れます。登校時に元気のない児童に声をかけると「朝ごはんを食べてきてない」と答えることが多いです。朝食と学力には、関係があるという結果が出ています。心身の正常な発育のためにもよろしくお願いします。

日頃から様々な取組に対し、地域やPTAの方々にご協力いただきありがとうございます。

**① 家庭・地域と連携**

☆アンケート⑰「交流やPTA行事を楽しみにしているか」の結果を見ると、昨年度に比べ6ポイント増えて84%の児童が楽しみにしていることが分かります。また、保護者や地域の方からほめられていたり感じている児童も3ポイント増えて81%となりました。地域でも褒められることで、児童の自己肯定感も高まると考えられます。児童への声掛け、また、楽しい行事を企画・運営していただき、ありがとうございました。

**② あいさつ**

☆あいさつについては、児童の意識が2ポイント、大人は7ポイント昨年度に比べて上がっています。見守り隊の方々など地域と保護者が粘り強く子どもたちに声を掛けさせていただいている成果が表れているのではないかと感じています。